

広報にゅうぜん

No. 300

昭和57年8月1日発行
毎月1回 1日発行
発行所 入善町役場
富山県入善町入膳3255
☎0765-72-1100(〒939-06)



ふれあいシリーズ

さあ、夏休み!! 親子がいっしょに

待ちに待った夏休み——。今日は、みんなが楽しみにしていた親子バーベキューです。お父さん、お母さん、そして隣りのおじちゃんたちがたくさん集まって、とてもにぎやかです。

お肉や野菜をジュージュー焼いて、ほくらはもう汗だく。なのに、お父さんたちは、ビールやお酒で顔を真赤にしています。子どもとお酒のどっちが大切なのかな? (上原・邑町地区の親子バーベキュー — 7月25日、上原小学校で)

8月号

に寄せて



宝泉初枝
西中3年
(吉原・15歳)

広報を 読むようになって

毎月配布される「広報にゆうぜん」を、1年ぐらい前から読むようになりました。

今まで読んできた中で一番良かったと思うのは、『そこから見たにゆうぜん』です。東京など遠い所から入善に引越してきた人が、入善の印象などを語るところを読んでいると、とてもうれしくなってくる時があります。

例をあげてみると、富山の女性 は働き者で働くことを苦にしているとか、食べ物のことでは、コシヒカリがおいしく、山の幸もふんだんに食べられる……と、入善のことをほめてくださいます。

遠い所から引越してきた人にほめられるほどうれしいことはありません。こんなことから、『そこから見たにゆうぜん』は、まだまだ続けてほしいと思います。

広報は、便利な面もあると思います。特に『町政カレンダー』は役に立つと思います。ただ、ふすまなどに張っておくと字が小さいので、近付かないと見えないのでもう少し字を大きくしてほしいも

のです。
『あなたと図書館』では、泉裕子さんのイラストが載っていますが、もう一か所どこかにあればと思います。

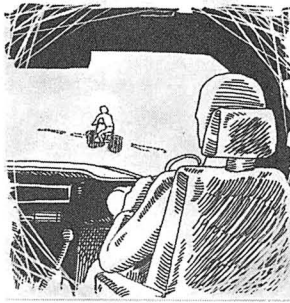
私は、広報に『意見広場』というコーナーをつくってもらいたいです。だれもが気軽に意見を言える意見広場——いいと思います。

最後に、広報にゆうぜんは何年たっても、いや何十年たってもやめてほしくありません。



渡辺丸子
主婦
(新屋・40歳)

交通のマナー



五月晴れのある日の午後、次から次へと走る車の流れも無とんちやくに、70歳過ぎかと思われる老人が、自転車に乗って道路の中央近くを、急ぐともなく行く。

ブーツ・ブーツ、バカ野郎、

何やってんだ——。気の荒いドライバーが大声でどなった。それでも平気で、通りたければ勝手に通れ、という具合に他人の迷惑など考えぬふてぶてしさ。

人間は、譲り合い助け合って生きていけると、子どものころからよく聞かされてきました。現代社会は、物には不足しておりませんが、心の触れ合いが無いように思います。

高齢化社会が急速に進む中で、親子別れなどして、孤独な生活をし、寂しい思いをして暮らしている老人も、たくさんいると聞いております。

入善町にも、65歳以上の老人が約3千800人、そのうち一人暮らしの老人が約120人もいるといわれています。年を取れば視力が衰え、忘れやすくなり、身体がいうことをきかない。そのうち「老人ボケ」という、一番いやな病気が出てくるのではないのでしょうか。

ある雑誌に、老人ボケ予防法というのが載っていて、頭脳を使う、日誌や手紙を書く、適度な運動を、実行する、安楽するより苦勞する、話し合い、歌い、テレビを見、外出する、気が付いたことはすぐ実行、後回しは忘却のもと、こんな記事が載っていました。

これを実行できる老人は、何人おられるのでしょうか。老後の生活を幸せなものにするために、せ



江田 志
無職
(入膳・78歳)

入善町に移り 住んで43年

私も一家は、転勤、転勤で方々に住みましたが、入善は本当に良い所です。

入善町の人、純朴で親切で正直で、人柄もよく、最高です。

雄峰—立山の雪どけ水が入善平野に出て、手を入れたら夏でもビリビリするくらいで、これがおいしい水のゆえんでしょうか。

それに、日本海の荒波で獲れた魚は大変おいしくて、他県から来られた人が、たくさん家を建てて住みついておられます。

私も夫婦は、新潟県糸魚川の在の生まれでして、夫は脳いっ血で病み、21年前に亡くなりました。私がつい最近まで病んで入院しておりましたが、今は元気に過ごさせていただいております。

人生の終着駅は入善町と、何十年前から決めております。

新総合計画のための

住民の集いの討論記録

650名が参加



▶横山地区での住民の集い

みんなで考えた

町づくり

6月8日から30日まで、町内各地で開催された“総合計画のための住民の集い”——。13会場合わせて650名もの多数の方々に参加されました。

自分の身近かな要望、町政へのいろいろな質問、将来の展望など、

『今日の入善、明日の入善』について活発な討論が展開されました。

今月は、各会場での討論の模様を、主だったものについてのみ再現してみました。

中学校の建設は？

——明日を生きる子どもたちのための中学校をつくってほしい。学区制を検討してほしい。地区にこだわらず3校案も考えてはどうか。

町長 上青・飯野までは小学校の建設が決まっている。このあとは教育問題審議会にはかり、今後の学校建設を考えたい。

ものづくりも大切だが、「人づくり」に力を入れるべきではなかろうか。後継者を育てる努力を惜しんではならない。学校教育はもちろん、生涯教育を推進すべきだと考えている。

舟見支所の問題は？

——舟見支所の廃止を考える時期でなかろうか、印鑑証明等の手続きが入善できずに困っている。今盛んに叫ばれている行財政改革の第一の仕事でなかろうか。これは野中全体の願いである。

町長 町の行財政検討委員会では、近い将来廃止の方向で検討されている。

野中地区

とき・6月8日
ところ・農村婦人の家
参加者・35名

●ほかの要望・質問●

①除雪機械の格納庫を野中に設置し、早期除雪を②転作に伴って農作業は手間がかかる。機械導入に補助金を。

横山地区

とき・6月9日
ところ・漁村センター
参加者・72名

小学校の統廃合問題は？

——小学校の統廃合問題を、総合計画に入れるのか、入れないのか。
町長 近々教育問題審議会を設置し、学校教育・社会教育のあり方を考えてもらう。その中で横山小問題も審議したい。

下水道の整備を

——横山地区のアンケートで、河川水路の整備と上下水道の整備を合わせると69・2%となり、横山地区の一番の要望事項となる。し尿くみ取り車がなかなか来てくれない。下水道・河川水路の整備を第一にやってほしい。

町長 下水道整備の必要性は痛感しており、将来としては終末処理場を備えた下水道を整備したい。し尿処理は、本来町でやるものを民間委託している。行政指導したい。

● ほかの要望・質問 ●

①雪害対策について②横山海岸に海浜公園を③横山用水路に桜の植樹を④小学校の照明をもっと明るく⑤駅前道路の整備を⑥総合病院の建設を(⑤⑥は共通事項参照)

新屋地区

と き・6月11日
と ころ・農協新屋支所
参加者・33名

黒部川の水利利用について

黒部川の水利利用は、電源開発が優先か農業水利が優先か？

町長 土地改良区のもっている水利権については、今後も必要水量の調査を続けるが、一応75・39トンということで話がまとまった。需要と供給の関係については、

県が中心となり、昭和60年を目標に調査を行っている。現在、企業は地下水を利用しているが、将来地下水は住民に、企業用は黒東合口用水に頼らなければならぬ。水は、将来町が発展するかもしれないが、バロメーターである。

計画を事前に知らせよ

——総合計画の中で最も取り上げやすいのが、道路や河川の改修である。しかし、恒久建物を建てた

直後に、立ちのきするような事態が見受けられる。また、公共建物の駐車場が狭いのもその類である。

町長 長期展望に立った計画を町民に理解させ、協力を求めて行くべきだと思う。

町長 21世紀を展望し、都市計画、道路整備計画をいち早く町民に知らせたい。現在、情報公開制度の検討も進めている。

● ほかの要望・質問 ●

①雪害対策について②町道小杉墓ノ木線、県道黒部朝日公園線の危険か所の拡幅を③総合病院の建設を④中央通り線について(③④は、共通事項参照)

青木地区

と き・6月14日
と ころ・農協青木支所
参加者・58名

試験農場の設置を

——転作という状況の中で、試験農場(見本園)を設置し、転作物を研究してみようか？

町長 各地区に適合した畑作物(藤原いちごや黒部スイカなど)の導入には積極的に応援する。見本園設置については、現在考えていないが、今後研究したい。

青木小の跡地は？

——上青小学校統合による青木小学校跡地(町有地0・54ha、借地0・34ha)について、借地はどうするか。

町長 青木保育所を58年度に建設する予定だが、現在の校舎を取りこわし、全体の配置を考えながらつくりたい。また、国の制度に沿ってコミュニティ施設の建設が望ましいが、現在具体的な制度が見当たらない。

柴垣邑町線の見通しは？

助役 県議・町議と共に県に陳情した結果、明るい見通しである。今後も強力に陳情し、58年着工に向けて努力したい。

● ほかの要望・質問 ●

①総合病院の建設を②除雪の連絡は早く③上・下水道についての町の考え方④企業誘致の考え方⑤財源対策など。(①④は共通事項参照)

舟見地区

と き・6月15日
と ころ・コミュニティ公民館
参加者・64名

地下水の調査を

——積雪の最も多い当地区に、消雪装置が全くないが、本当に地下水がないのか、もう一度調査・検

討してもらえないか。

町長 地下水は確かに少ないと聞いているが、もう一度確認してみたい。場合、隣接の町に水量のある所もあると聞いているので、隣接の町と協議し、県などに再度要望したい。

地区体育館の規模は？

——地区体育館の建設について、町ではどのような規模のものを考えているか。地区の要望として、9人制バレーボールコートと2面取れるスペースで、1千200平方メートルを考えている。

町長 まだはっきりとは決めていないが、各施設のバランスを考えると、850平方メートル程度が適当だと思う。

● ほかの要望・質問 ●

①総合病院の建設を②林道の舗装を③舟見中学校の存続を④冬期間のザイ水の解消対策として、排水路の整備を。(①は共通事項参照)

小摺戸地区

と き・6月16日
と ころ・小摺戸公民館
参加者・28名

転作補助金のゆくえは？

——転作を定着させるために、よ

り一層の補助政策がほしい。行政改革が叫ばれる中で、補助がどうなるか心配だ。

町長 農業の問題は、町だけの力では解決できないことが多いが、できる限り努力したい。転作については、県は来年から傾斜配分をするという。転作には、町は約2千900万円をつぎ足し、補助している。

黒部川堤防への道路を

——黒部川の堤防へ行く道路をお願いしているが、なかなかできない。水上からもぜひ必要だ。黒部市では、現在工事中のところもあり、町は、堤防に対する認識が薄いのではないかと。

町長 近日中に水防会議があるので討議したい。建設省にも働きかけて行きたい。

急病の場合は？

——子どもが、夜12時を回って急病になり困ったことがある。なんらかの対策が必要だ。

町長 休日・祝日は、黒部市の急患医療センターを利用してほしい。受付は、午後7時から11時までです。それ以外の日は、当番医にお願いしてほしい。

● ほかの要望・質問 ●

①雪害対策②北陸新幹線についての考え方③企業誘致対策など。(これらは、共通事項参照)

桐山地区

とき・6月17日
ところ・桐山公民館
参加者・44名

発電問題は？

北電・関電の発電問題について、話し合いがどこまで進んでいるのか。

町長 発電問題については、土地改良区が冷水補償として26億5千万円で仮調印したと聞いている。行政としては、北・関電との確認書があり、双方と協議して町民の利益を守るために交渉を続けたい。

教育の充実を

将来の町を担う子どもたちのために、高等教育の充実を願う。
町長 入善高校の定員増を県へ働きかけているが、来年度実現したいと思っている。また、短大が専門学校の誘致を考えている。学校ができれば人口増にもつながり、町の発展も期待できる。工場誘致とともに学園都市をめざして進めたい。

小学校の統合は？

町長 学校問題は、近く教育問題審議会を発足させて、総合計画に盛り込みたい。

上青小の次に飯野小、そのあと桐山・横山小・舟見・野中小、最後に舟見中の問題があり、学校建設だけで15年ぐらいいはかかる。

● ほかの要望・質問
①雪害対策②転作対策③都市計画道路の計画は？④町の借金状況は？(①③は共通事項参照)

上原地区

とき・6月22日
ところ・農協上原支所
参加者・63名

農業の意識調査を

転作等の問題を含め、これらの農業をどのようにとらえるかはつきりわからない。農家の人からは農業をどのようにとらえているか、アンケートをとったらどうか。

町長 たいへん結構である。農業の意識調査は実施したい。

老人福祉センターは

上青中跡地に

上青中跡地は町の中心地であり、土地を新たに求める必要もない。

町長 老人福祉センターの骨格については、もう考えている。あとは場所であり、全町的な利便のもとに決めたい。

公民館については、町が25%、地元75%というのが補助の比率である。これを地元負担なしということはできない。しかし、各地区に南部コミュニティセンター、漁村センター等があるように、農林省の農村ミニモデル事業の計画など、国や県の制度に乗った形で考えたい。

● ほかの要望・質問
①住宅密集地に消雪装置を②総合病院の建設を③上原縦断線と上原保育所前から役場までの道路を整備してほしい(①②は共通事項参照)

入善 (農村部)

とき・6月23日
ところ・勤労者福祉センター
参加者・26名

老人の雇用対策は？

老人の雇用についての考えはどうか。働きたいのにブラブラしている人が多い。

町長 高齢化社会が進む中で、来年度、老人福祉センターを建設するが、老人の余暇の有効利用に使うしてほしい。職業安定所と連絡しながら、センターに窓口を設けたい。

8号線の上に、保育所を

8号線より上には、350戸の住宅があり、南部保育所へ108名の園児が通っている。交通安全の面からみても、同地区に保育所の新設が必要だ。

町長 これに関する請願書を受け取っているが、現在、14か所の保育所で間に合っている。108名の実数なら建設してもいい人数であるが、今後子ども数が減少していくことが予想され、新設するのは困難だ。

● ほかの要望・質問
①下水道整備を②町道の舗装計画は？③総合病院の建設を④学校の統廃合は？⑤企業誘致対策は？⑥駅前整備を。(③④⑤⑥は共通事項参照)

入善 (6~11区)

とき・6月24日
ところ・中央公民館
参加者・36名

買物客の流出対策を

最近、近隣市町への大型店舗進出により、町からお客が流れている。現在ある商店で、他の市町からお客を引く施策はないか？

町長 消費者の意見として、他へ行くことなしに買物をしたいたと考えている。大型店舗については、地元主導型のものであることが望ましい。

高速道路について

町内に、高速道路のインターチェンジがないのが不便だ。

町長 北陸自動車道の開通は、58年10月頃の見込みである。インターが入善にできなかったのは、地形的、技術的な問題があるが、朝日、黒部までわずか15分ほどで行けるので、さほど不便ではない。

● ほかの要望・質問
①除雪予算は？②企業誘致対策は？③下水道整備の考えは？④広域合併について⑤新幹線の評価は？⑥都市計画の町のビジョンは？(②③④⑤⑥は共通事項参照)

入善 (その他地区)

とき・6月25日
ところ・勤労者福祉センター
参加者・56名

上下水道対策は？

都市計画整備と併用して、上下水道整備を進めるべきだ。

町長 町としては、直接的な上下水道の計画は持っていない。新川広域圏の事業の中で、宇奈月ダムを取水源として1市3町で上水道をつくる計画はある。

町長 駅周辺の町内では、企業が大量に水を使っているせい、井戸

が枯れて困っている。

町長 町の地下水は豊富といわれるが、それは有限である。将来地下水は住民に、工業用水は黒部川によらねばならない。

● ほかの要望・質問 ●

①雪害対策について②老人福祉センターの建設計画は？③総合病院の建設を④駅前道路の整備計画は(①③④は共通事項参照)

飯野 (第2投票地区)

とき・6月29日
ところ・漁村研修センター
参加者・86名

情報公開とは？

情報公開とは何か？

町長 主権者である町民に、町の実態や問題を理解していただくことが大切だと考える。これにより、町政の適切な執行につながる。情報検討委員会を設置し、制度化に向けて作業を進めている。

現在、財政事情は広報でくわしく報告しており、いずれ町職員の間、退職金額を明らかにする予定である。

飯野小改築計画は？

町長 上青小に次いで、飯野小建設に取り組みたい。

着工は60年度ぐらいで、3〜4

年の期間と約15億円の財源がかかるであろう。校舎は、現グラウンドの海側を考えている。グラウンドの拡充は、校舎建設に併せて実施したい。

農振の見直しを、計画に

「農振の見直し」を総合計画に入れてほしい。

町長 見直し作業は今やっているが、宅地造成地、用途地域の変更、芦崎隣接地の宅地化等、土地利用の見直しを図り、対処したい。

● ほかの要望・質問 ●

①通学路の拡充②農業用水路の汚染対策は？③生活排水路の整備を④道路整備計画は？⑤雪害対策について(⑤は共通事項参照)

飯野 (第1投票地区)

とき・6月30日
ところ・環境改善センター
参加者・49名

新総合計画の柱は？

新総合計画の柱は何か。また住民の集いは、何のためにやり、その真意は？

町長 新総合計画の内容は、①充実した福祉②住みよい環境③活力ある産業④香り高い文化のまちづくりを目標としている。

65年をめざす計画策定にあたり、広く町民の意見を求め、町政への積極的な住民参加を図るものである。

除雪対策について

西入善駅に消雪装置をつけてほしい。

町長 除雪については、今後消雪装置が最もよいと思うが、限りある予算のため、町道においては除雪車の入るところは機械で、密集地で通れないところは消雪装置を取り付けたいが、20%の地元負担をお願いし、話し合いがたいところから実施していきたい。

● ほかの要望・質問 ●

①飯野小学校建設について(飯野第2投票区のものと同様)②総合計画には専門家の意見を反映させるように③海岸の波害について

共通事項

全町的な問題のため「共通事項」として取り上げました。

無雪害町づくりは？

町長 消雪装置の設置が一番の方法であるが、町道の全延長が500キロと長く、全線は無理である。現在、消雪装置の要望が所が、

県・町道合わせて18か所ある。県へも要望しているが、住宅の密集地や十字路を優先して取り組みたい。

総合病院の建設は？

町長 昭和26年ごろ、入善元町で総合病院を作る陳情があり、予算化もされたが、実現しなかった。総合病院の建設にあたっての問題は、約100億円の財源をどこに求めるかがネックとなる。泊病院、黒部市民病院は累積赤字がたくさんあり、病院が老人ホーム化されている。

交通の発展により、朝日・黒部へ通えるし、この8か年の中で病院に取り組むのは極めて困難である。企業や事業団が病院をつくるということであれば、協力し誘致したい。

新幹線について

ルートは？

町長 新幹線の路線は、5万分の1の地図に示されているので、はっきりしない。おおよその見当では、高速道路の山側500メートルのところを通るようです。

北陸自動車道との間にはさまざま人たちの生活環境が心配で、町としては、朝日町が提案している山側を通る案に、賛成の意志表示をしたい。

新幹線をどう評価する？

町長 入善駅に特急が止まることで、東京へは4時間30分で行けるし、もう日帰り圏内だ。新幹線なら時間が半分に短縮できるが、そのために在来線が切り捨てられるのではないかと、心配もある。

もう一つは地元負担問題。町の財政状態では不可能であり、市町村が負担を強いられるなら反対である。

駅前道路の整備計画は？

町長 中町線の整備は来年度で完了の予定で、その後、駅前道路の整備に入りたい。ただ、この道路により商店街が中断され、商店に不利益を与えるのではないかと心配している。よく地元の住民と相談して結論を出したい。

幅員については、20メートルか16メートルである。着工となれば、最初に駅前から辻田スパーまで、次に8号線までをやりたい。

企業誘致対策は？

町長 現在、4千5百人から5千人の人が町内の企業で働いているが、町外も多い。付加価値の高い企業の誘致については、沈滞ぎみの経済下では難しい。

しかし、地下水が豊富なので有利さはある。今年度予算にも、企業誘致費を計上しているので、これからも努力したい。

広報300号記念特集

覚えていますか? あの頃・あの記事

「町の広報」が産声を上げたのは、昭和29年9月1日。あれから28年、今月でちょうど300号を数えました。楽しいものであれ、イヤなものであれ、300号の中にはこの28年間の思い出がギッシリ詰まっています。
題して、「覚えていますか?あの頃・あの記事」——。みんなで当時を振り返ってみましょう。



▲ 38豪雪（第82号表紙）
北陸線やバス路線の不通など、町民生活をマヒさせた「38豪雪」…。38年1月26日に入善駅周辺で、225センチの積雪を記録しました。
〔豪雪写真〕……①土木出張所のグレーダー②町職員の除雪③寺田川の雪流し④劇場前の除雪⑤ダンプパットの活躍⑥入善駅のホーム⑦家屋浸水⑧屋根雪なだれ⑨県道が川になった舟見

●—— 当時の新聞記事から…

「38豪雪」の模様を、同年1月27日付けの北日本新聞朝刊は次のように報道しています。
「県史上最大の雪害に」……2週間におわたって降り続けている北陸地方の豪雪はいっこうに衰えず、とくに深刻な事態をむかえた富山県下は、交通網のマヒから孤立地区の増加はもとより、生鮮食料品のと絶えもあって、県民の不安は高まるばかり。26日現在県下の被害は死傷、不明13人、住宅全半壊16戸など県史上最大の雪害となった。このため県と民間奉仕のブルドーザー動員のほか、自衛隊、

警察官などの協力を得て、県民総ぐるみの除雪につとめているが、いまのところ明るい見通しは全くついていない。

第 82 号（昭和38年 2 月発行）
38 豪雪

▶決壊寸前の福島堤
(11日午後4時20分)
〔福島・森田伊成さん撮影〕



▲一夜明けた福島決壊が所より下流を望む
(12日午後6時25分)

当時の記事から…

舟川は、11日の朝には各地で堤防が決壊して氾濫し、消防団員らによる急防作業が展開されました。しかし、舟川や小川とは桁違いの大きな黒部川も、午後3時頃には4,200立方メートルの計画水量を3,500立方メートルも上廻った流量となり、地元民、消防団員、町職員等が、浦山新・福島両地区の危険か所で、必死の急防作業にあたりましたが、午後4時40分、ついに福島地区堤防が水位上昇によって漏水し、決壊しました。

このため、飯野・福島・青木地区の一部に避難命令が出され、午後10時10分には災害救助法が発令されました。

第151号(昭和44年9月発行)

8月豪雨による黒部川決壊

(1) (創刊号) 入善公民館報 昭和29年9月1日発行

公民館の使命と館報の發刊
入善町中央公民館長 船平源藏

創刊の際して
入善町教育委員 米沢甚吾

創刊のよろこび
入善町長 米沢元繼

この創刊号には、公民館の使命と館報の發刊に関する文章が掲載されている。また、公民館の建物や活動の様子が写真で紹介されている。

29年9月に「入善町公民館報」としてスタートし、30年3月まで7号を数えました。当時は、タテ37センチ×ヨコ26センチのタブロイド版(新聞紙の半分)の大きさでした。

30年4月には「入善町報」として新たにスタートし、36年1月発行の第68号からは現在の「広報にゅうぜん」に改名されました。また、現在のスタイルになったのは、48年6月の190号からです。

創刊号の記事から…(3ページ)

『黒部大橋、橋脚の一つが完成』
去る2月14日に起工式を挙げた黒部大橋の工事は、請負業者本間組の手によって進められていたが、西詰の橋脚だけこの程完成した。

新大橋の位置は、桜橋より350米ばかり上流に架けられるのである。

創刊号(昭和29年9月1日発行)

「公民館報」としてスタート

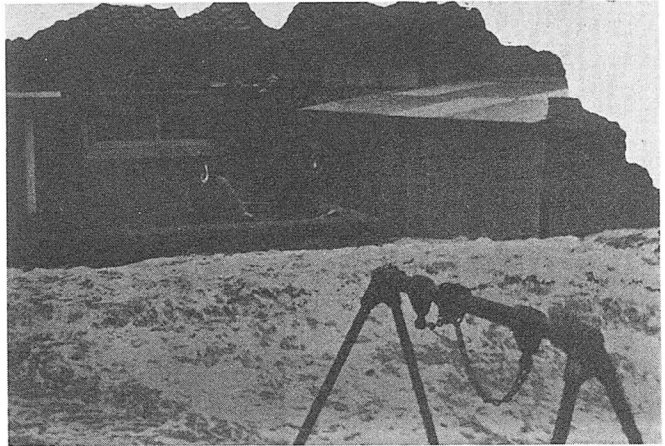
●—— 当時の記事から (表紙)

1月31日、この日は正月納めとあって、例年なら、晩酌の銚子が1本ふえるという家庭も多かったのでは……。

しかし、わが町の海岸線一帯は、午後になって勢力を増した高波が護岸堤を乗り越えて浸水し、恐怖と不安が交錯する正月納めとなった。

午後10時、身をさす吹雪と波しぶきの中で、腰まで海水につかりながら、板戸やタタミで玄関を補強する男。タタミをあげ、2階に避難する主婦や子供たち。非情な高波は、床上に泡立ち始めた。

2月1日、まだまだ衰えを見せない自然の力。海岸に近い舟小屋は、建物というイメージにほど遠い……。



◀ 芦崎公民館前の民家を襲う海水(2月1日)

第156号(昭和45年2月発行)

驚異の高波、芦崎を襲う!!

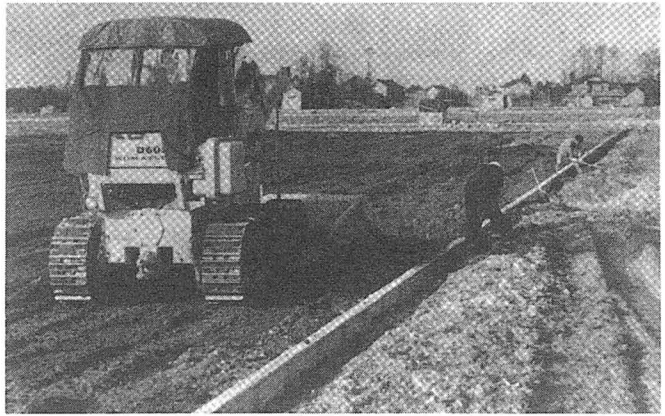
昭和37年10月から着手された基盤整備工事。飯野(笹原・高島)地区を皮切りに、町内全域に広がり、52年3月に上野地区を最後に完了となりました。

整備された面積は町全体で4,200ヘクタール。筆数も10万2,956筆から1万5,779筆に激減しました。

●—— 当時の記事から (表紙)

これからの農業、新しい近代的な農業経営への道を切り開こうと、各地区で構造改善事業が進められています。

ここ、新屋地区と飯野地区では、天候にも恵まれて着々と工事が進められ、米春3月の完工をめざして、関係者も大はりきりです。



◀ 着々と進められる基盤整備

第107号(昭和40年12月発行)

新しい農業づくり

●—— 当時の記事から (表紙)

10月1日、待望の北陸線電化がなりました。スピードアップとともに、これでようやく煙のない快適な旅を楽しめます。

気をつけなければならないのが飛び乗りに飛び降り。見送りのテープも厳禁です。

△ —— △ —— △

翌年の41年11月25日に入善駅-西入善駅間、及び42年9月20日には入善駅-小川信号所間の複線化がなりました。

また、46年12月1日には「入善駅舎」が完成し、駅前広場の整備と合わせて、町の表玄関は見違えるようになりました。



◀ 煙のない電車が初登場

第105号(昭和40年10月発行)

北陸線電化開通

▶田中海水浴場のある日の賑わい



第53号（昭和34年8月発行）1面の田中海水浴場（上）と第79号（昭和37年8月発行）表紙の横山海岸（右上）——。



◀横山海岸の平安林

入善町の歴史を考えたとき、それは、前ページの高波被害の記事のように、“海岸浸食との戦い”であるとも言えます。

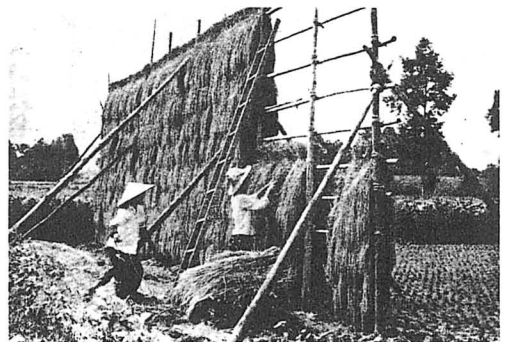
今は懐しい風景……
どこへ行ってしまったんだろう？

基盤整備とともに消えた昔の田園風景。ハンノ木やワラぶき家、そして小川のせせらぎなど、往時をしるばせるものはもうありません。

▶現在の役場付近から北アルプスをみる



第95号（昭和39年12月発行）表紙の田園風景（上）と、第92号（昭和39年8月発行）表紙の秋の収穫風景（右）——。



◀秋の風物誌・下山地内

▶シン舞いを先頭に渡り初め



●—— 当時の記事から（表紙）

待望久しかった黒部川の権蔵橋ができあがり、5月1日午後2時から完工式を行い、完成を祝いました。

この権蔵橋は、昭和12年につくられてから、木橋のため出水のたびに流失し、おまけに幅が2メートルしかなかったため車の通行も不可能でした。

完成した権蔵橋は、42年2月に4か年計画で着工し、総工費は1億8,400万円。長さ541メートル、幅5.5メートルのりっぱな永久橋です。

第136号（昭和43年5月発行）

権蔵橋完成

広報 にゆうぜん

300号



森 敏行
会社員
(上野・30歳)

広報300号に捧ぐ

私が、学生・社会人として過ごした8年の東京での生活の後、生まれ故郷へUターンしたのは3年前のこと……。

8年ぶりの郷里へ入善は、当時に比べて格段に変ぼうしており、驚きと感動で、時の移りゆく早さととまどいすら感じたものでした。

じょうべのま遺跡、沢スギ、種々の会館・施設、道路、河川、農業の機械化、学校の統廃合、公園、スポーツ施設及び活動の豊かさなど、まるで想像もしていなかった



ことばかりで、他の土地から引越してきたようで、とても自分が生まれ育った所とは思えないくらいでした。

東京にいたころは、人があまりにも多く、自然(草・木)の緑を恋しく思い、雑草ですら心に安らぎを与えてくれ、アパートの回りが草でぼうぼうになると、むしろ

喜びすら感じたものでした。その意味で、自然といかに調和していくか、育てていくか、壊れてしまふとなかなか元に戻せないものは何であるかを認識させられたような気がします。

組織(行政であれ団体であれ)が大きくなればなるほど、その構成員から遊離し、一人歩きしがちであるように思えます。

そんなことがないよう、私たちが、自己存在の認識と伸びゆく町「入善」を展望しつつ、広報400号の時にはどんな町になっているか楽しみにしたいものです。



山 真 衛
鑑定師
(舟見・67歳)

河川敷にかける夢

新愛本橋に立って、はるか河口に至る流域を眺望すれば、眼下に広がる黒部川の護岸堤は往時と大きく変ぼうし、広大な河川敷に驚くばかりである。

かつて幾世紀にわたって、流域住民に重宝がられた流木も、押し寄せた燃料革命の前に、今は省みる人もなく、いたずらに朽ちるに任すのみである。

さて、この広大な河川敷を大々に淡水魚の養殖事業に開発利用

できないものだろうか、と夢見るのである。出水ごとに変わる流心を人工的に左岸に固定することは、技術的に不可能ではなからう。北方領土が半永久的に返ること

が絶望視され、毎年漁業協力費として何十億円がソ連に支払われる現状である。

不足しているタンパク源の補給に役立つのみならず、地元の新産業を振興し、その加工品は全国の市場から珍重され、更に、新しい観光地として全国に伝えられ、大いに地元が潤うことは疑いない。

冷たくて豊かな水量を活かす他所にできない特性を持つ河川である。赤字必至の新幹線誘致より、この事業の方が、よほど価値ある構想に思えるのだが、いかがなものであろうか。

国・県の議員さん方、一肌脱いでいただけないのでしょうか。



西村 三夫
会社員
(入膳・42歳)

広報の使命とは

「広報にゆうぜん」の使命は、町と町民の木鐸(「世論を導くもの」)に徹することが、より大切であると痛感する。

すなわち広報は、日進月歩に変

容する町政の動きを基軸にし、経済、産業、文化、教育、観光、スポーツ、美術など総合的な角度から町民活動の全分野をとらえ、幅広い情報の収集、それを整理し、より正確な出来事が掲載されてはじめて、愛着を持つものと思う。

広報の特徴は、町の様子をテレビやラジオのように、目や耳で見たり聞いたりして瞬間的に消え去るのではなく、注目すべきニュースや大切な記事は、何回も繰り返し読めるメリットがある。

率直に言って、今回広報にゆうぜんが300号を達成した背景に、幾多の風雪に耐え、実現したことに拍手を送りたい。

顧みれば、入善町大同合併以来今日まで、28年間継続され、人生にたどるならば、成人を過ぎ円熟した大人の成長期を迎えたと言える。

もちろん、これまで毎月発行にあたる担当の皆さんは、複雑多様化する町民意識を踏まえ、取材・執筆・編集などの努力と苦勞を重ね、毎月1回各家庭へ配布されていることに感謝しています。

町と町民のパイプ役を果たす広報が、まさに公器としての機能を十分に発揮している事実を踏まえ、今後ますます入善町の発展と生活の向上、更に心の豊かさを極力大切にすることを願い、一層の精進を望んでやみません。



舟川 好美 主婦 (青島・33歳)

広報による思い出と 主人からの要望

入善町に生まれ育った人々には、"広報にゆうぜん"のありがたさは、それほど感じられないと思います。しかし、県外または県内の人でも、これからこの町に住することになった場合、この広報は、「地区名」「それらの特性」「行事」などを知るには、一番手近にある、なよりのテキストではないでしょうか。

私は、縁があつて茨城県から嫁いで10年になります。広報によって覚えたことや思い出が数多くあります。以前読んだ本に「女性は男性より環境に順応しやすい」とありましたが、言葉も風習も全く違う生活に入るには、男女を問わず大変なことです。嫁いだ当時は、家族の会話の中に少しでも溶け込みたくて、入善の知識を得ようと毎月の広報が待たれたものです。方言は幸い町の商店に勤めたせい、家庭にいるよりは早くなじみまし

もが生まれた年の秋でした。広報に、黒部川権蔵橋付近のグミ林の話題が掲載されたのです。私としては、これから住む入善町が知りたいのですが、主人は「老人会にも入ってから行くこっちゃ」と言つて、休日には遠出したがりです。

黒部川を見たくて、何度も頼んで車で連れて行ってもらつたのですが、権蔵橋から見た景色は強烈でした。広い川原に沿つて延々と続くグミ林。そこにたわわに実る紅いグミの実。その間を、川幅は狭いが高校時代地理で習つた黒部川の異名を持つ黒部川が、他県から来た私に誇示するように白い水しぶきを上げて、確実に力強く流れていました。



ところで、広報にコーナーを2つほど設置していただけないでしょうか。これは主人からの要望ですが、町政に関する質問解答コーナー、もう一つは、確か54年だったと思いますが、新年号の表紙に、数十名の町民の顔写真がカラーで載つていたことがありました。その中に仕事中の主人の顔と、長男と仲良しの近所の子どもの笑顔もあり、当時は家中その話題で持ち

きりでした。

そこで、こんな小さな写真でも大騒ぎなので、各地区ごとにシリーズにして「オラトコ」の珍しい話、聞いてほしい話のコーナーをつくり、その地区の紹介とニュースを顔写真入りで載せ、次の案内もすれば、来月号を待つ人が増えるのではないのでしょうか。これからも老若男女を問わず、広い世代に親しまれる「広報にゆうぜん」を編集されるようお願いいたします。



上田 勉 教師 (入膳・34歳)

村人の散村居住観

散村は、各農家が一定のまとまつた経営地の中央に、それぞれ屋敷を建てたことから成立したもので、農家は労働の節約ができることに最大の特色がある。

しかし、農村にも電気や上水道、電話線を引く時代になると、散村は、それらに多くの経費がかかり、必ずしも有利な形態ではなくなつてきている。

従つてこのような状況において、まだ散村形態保持の地域に居住する住民が、散村に関してどのような価値観を持ちながら定住してい

るかを調査することは、単に散村の持つ現代的な意義を問題視するばかりでなく、今後の散村発生起源探求へのつながりに大きく役立つものと考えられる。

このため筆者は、現地点において黒部川新扇状地での散村居住者が、散村に対して抱いている居住観を、昨年9月上旬、本町新屋・島と檜山・荒又の両部落でのアンケート調査をもとに、明白にしてみた。

その結果、日常生活上、便利とも不便ともいえず、主に便利と感じている点は、①生活環境に対する快適性②日常の生活上での利便性③私生活上での気楽さ④類焼防止上での住居の安全性……などであった。

しかし反面では、散村は集村に比べ行政投資の効率が悪く、冬期間の除雪体制や近隣間の連絡網に難が多く、ほ場整備事業時に散村を再編成して集村を図るべきであった、との声も聞かれた。

いずれにしても、散村の是非は別として、村人には「農家の位置そのものについては、なにも考えず、語らず、ありのままを認めて生きて行く」とといった居住意識も



みられたが、地域住民は、むしろ積極的に時代に対応して、理想的な生活体系を作り上げる努力をしてきた。

今後、更に散村が理想的な田園をめざして発展するためには、村人のニーズに応じた生活環境の整備が期待もされ、急がれよう。



水島 一夫 日大助手 (下今江出身 35歳)

黒部川扇状地の 土地利用思考

最近、黒部川扇状地における農業的土地利用の景観は大きく変化している。麦・牧草・ソバ・野菜・花卉などの栽培地の空間的広がりは、一時代前の水稲中心の単調な景観からは想像できない多様な姿を、私たちの前に現わしている。

特に、麦秋という俳句の季語すら失いかけていた初夏に、再び豊かな実りを告げる麦栽培の景観を見ていると、20年ほど過去に溯つたような気がし、ノスタルジアすら感じるのである。もちろん、この美しく整備された圃場に、秩序正しい農業的土地利用の多様な形態を作りあげたのは、農民が土地へ積極的に働きかけた結果である。ところで、この多様性は単に経済的価値を生み出すばかりでない。

文化や文明、そして豊かな精神を育む母なる大地なのであり、限りないポテンシャル（可能性）を含んでいる。ただ、いま黒部川扇状地に展開している農業的土地利用景観の多様性は、大きな経済的、社会的な流れの中で、政策的に決定されたものであり、黒部川扇状地という地域性に即したものでないということである。

今は地方の時代という。それ故時の流れや社会の動きを見失うことなく、将来を展望しながら、黒部川扇状地の農業的土地利用方法を思考することが本来の姿といえる。

限られた土地でありながら、無限のポテンシャルを持つ黒部川扇状地の土地利用を再度見直してみたい。



竹田 登 教師 (入膳・54歳)

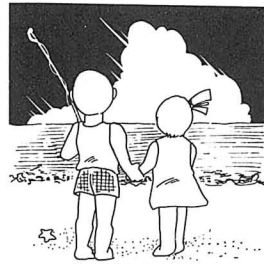
入善町について

海――。

子どもどころ、五十里の浜でも田中の浜でも、砂浜が50メートルも続き、夏など、はだしの足の裏は熱くて、水際まで全力で走ったものでした。それが今は、テトラポットの累積です。どうしてこう

なったのでしょうか。

戦後でも、黒部川には、河床の上昇を防ぐためのタワー・エキスカベーター（掘削機）がありましたが、河川での砂利採取を禁止し、建設業の骨材は、山の岩を砕いたものにすべきです。入善町は、海岸の方から年々狭くなっています。



ゴムボートでキス釣りに出ます。

プーンとドブの臭いがします。川へ汚水やゴミを捨てるのをやめましょう。これでは、釣った魚を食べる気がしません。各家庭の簡易浄化槽は禁止しましょう。「タレ流し」は、郷土を愛する者のやることではありません。各企業や畜産業者の排水検査は、エレクトロニクスを用いた装置で、常時監視する必要があります。

河川――。

コンクリートの側壁で、流れも速く、魚も住めません。ところどころに堰（ドンドン）があり、これが「魚止め」になっています。魚道をつけましょう。地下水――。

まことに澄み切った、日本一、

否、世界一の水です。この水のあり限り、この土地を離れる気持ちはありません。水道の水は、庭木や植木鉢にかけるとささ惜しまれます。なるべく川の水をくんでかけるようにしています。

この水で雪をとかすということ。融雪装置がどんだんできています。これは間違いです。雪はスコップで除きましょう。冬の運動不足が解消します。大雪の時は、みんな歩きましょう。豪雪の年は、交通事故が少なくていいです。雪を邪魔にしないで、雪と仲良くして冬を過ごしましょう。こんなすばらしい水を、雪をとかすことに使わないで、バチがあたります。

かつて、禪宗の僧は、川の水をくんで手を洗った場合、残った半杓の水は川へ返した、といいますが、融雪は川の水を使いましょう。

税金――。

町を運営するには、金が必要です。みんなでお出ししましょう。所得に応じて、必要なだけ出さねばなりません。しかし、これが本当に「所得に応じて」いるかどうか疑問です。

月給取りは、所得を100パーセント把握されています。娘は、5年間保育所へ通って、110万円近くの保育料を納めました。最高額です。これも所得に応じて、とのことですが、税金が、所得に応じて納める

ものなら、保育料は、一律ということにしていただかないと、月給取りは二重に痛めつけられます。住みにくいです。町の大きな商店の税金や保育料は、中年の月給取りのそれよりも少いのです。これは確かです。何とかしてくださ



寺崎 百栄 入善高2年生 (入膳・17歳)

私と広報

私が広報を読むようになったのは、高校に入ってからです。それ

までは、よくわからないようなことばかり書いてあるようで、どこか近づきにくいという先入観がありました。が、一度チラッと見てみると、わりと興味を持って読めるところが多くて、何か新しい事を発見したような気分でした。町政とか、何か難しいところは、私みたいな高校生にはよくはわかりませんが、町の人達にとっては、町を理解できる唯一の読み物だと思います。

私が最近、興味を持って読んでいるものは、『そこから見たにゆうぜん』という欄です。17年間も住んでいる町ですが、「入善でどういう町？」などと聞かれると、案

外、うまく答えられません。自分の住んでいる町の性格みたいなものは、やっぱり知っているといいたいと思うし、そこから見たまま言ってもらおうと、また異なった見方や考え方ができていいと思います。あと、沢スギ林や吉原の埋没林などの名所について書いてある欄は、国の天然記念物でもあるので、必ず読んでいます。

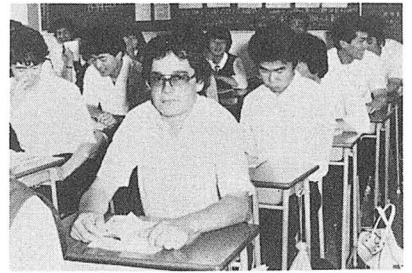
このように、誇りに思える面もあれば、またその反対もあると思いますが、将来、入善町にこういうものができたらいいのになあと、友達数人にも考えてもらったので書かせてください。

海水浴場・町の体育館・映画館・大きなデパート・野球場・スケート場・大きな陸上競技場などができたらいいというのや、商店街がもっと広くなればいい……etc. たいへんせいたくなのですが、私も、将来、本当にできればいいなアと思います。

最後に、広報は、町民一人ひとりにとって本当に大切な新聞だと思っています。が、もつと色々な人のイラストを載せたり、質問のコーナーがあったり、あと、色々な事をテーマにアンケートをとったのが載っていたり、多くの学校の紹介の欄などもあったら、広報がもっと身近なものになって、読者の年齢層も広がるのではないかと思います。

そとから見た にゆうぜん

この欄では初の、「青い目で見たにゆうぜん」です。
 アメリカ出身のレックス・ネコラ君-17歳。6月23日から留学生として、入膳の三日市茂朗さん宅に滞在中です。



—ハウ・ドウ・ユー・ドウ？
 (初めまして) 日本はいかがですか？
 レックス ナイス!! 町はきれいだし、店に買物に出かけても、みなさん親切にしてくださいませ。
 —入善高校での学園生活はどうでしたか？
 レックス 夏休み直前で1週間しか体験できなかったけど、試験・試験と追いまくられ、宿題もドツ



今年も、あま～いよ 黒部スイカ査定会&試食会

「ウン、これはウマイ!!」—。黒部スイカの査定会と試食会が、7月21日役場で行われ、「最近にない出来ばえ」と折り紙がつけられました。黒部スイカは7月下旬から今月いっぱい、全国に向けて出荷されます。

ママさんたちも、大奮闘… 入善地区防火大会

入善地区防火大会が、6月26日入善小グラウンドを中心に開催されました。婦人防火クラブ員による消火訓練や街頭パレードで、防火をアピールしました。



お年寄りに、大きなプレゼント 横山にゲートボール場が

横山地区に待望のゲートボール場が完成しました。場所は旧横山保育所跡地で、町が100万円を投じて950平方メートルを整備したものです。
 おじいちゃん・おばあちゃん、みっちり練習を積んで、町内一のチームになってくださいネ。

カメラ・とびつくす カメラ・トピックス カメラ・とびつくす

住 所 保護者 続柄 名
 古黒部 浜西正美 長男 大介
 青島 舟川春雄 三男 寛之
 青島 矢野忠司 二女 絵莉子
 入膳 古本克雄 二男 繪莉子
 下飯野 野坂孝義 長男 大樹
 山 後藤隆司 長男 洋平

おめでた



住 所 氏 名 年令
 荒又島 五十里由松 57 幸世
 東五十里 五十里由松 57 幸世
 八幡 杉本光男 50 幸世
 小杉 金本匡美 29 幸世
 新屋 石山清蒸 77 幸世
 入膳 田中幸次郎 82 幸世
 青島 上田明伸 40 幸世
 舟見 内島栄郷 81 幸世
 木根 本田善保 69 幸世
 浦山 中易ちや 84 幸世
 入膳 森隆夫 66 幸世
 芦崎 池田春松 69 幸世
 舟見 吉田栄次郎 83 幸世
 入膳 米沢久一 64 幸世
 青島 大角久良 69 幸世
 下飯野 米島一信 68 幸世
 新屋 白又茂 52 幸世

おくやみ



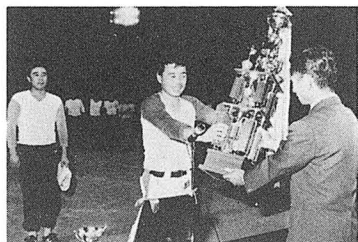
一宿チームに栄冠

町長杯ナイター
ソフトボール大会

・5月20日から延べ2か月間にわたって、運動公園野球場で開かれた第3回町長杯ナイターソフトボール大会の決勝戦が、7月14日、一宿チームと芦崎チームの間で行われ、大接戦の末、一宿チームが初優勝を果たしました。

過去2回の大会は、小摺戸上部チームが2連ばしており、今回の一宿チームの優勝で、小摺戸地区のチームが3連ばしたことになります。

なお、この大会には町内各地から78チームもの参加がありました。



▲松井ソフトボール協会理事長から優勝トロフィーを受け取る一宿チーム

丸山・大田組が2連勝

県家庭婦人
バドミントン大会

丸山桂子さん(入膳・40歳)大田恵美子さん(入膳・33歳)は、6月27日、富山市で開催された「県家庭婦人バドミントン大会」で、昨年に続いて、2連勝しました。

丸山・大田組といえば、県民体育大会でも3連勝しており、バドミントンの婦人の部では、県内のトップクラス。

「今後も練習を重ねて、全国大会で3位入賞をめざします」と、大はりきりです。



▶左から丸山さんと大田さん

サリでは日本の高校生はかわいいそうですね。

——日本の女性は何?

レックス はずかしがり屋で遠慮深いけど、かたまと結構うるさいみたいです。かわいい人が多いね。

——覚えた日本語は?

レックス おはよう、おやすみなさい、いただきます、行ってきます、ありがとう:etc. 難しいですね。(とてもじゃありません)

——食べ物はいかがですか?

レックス すし、すいか、びわ、カップヌードル、ソーメンなど、おいしいものばかり。でも漬物物はちょっとね。

——日本とアメリカを比べると? レックス むこうは犯罪が多く治安が乱れています。その点、日本は住みやすそうだし、ぜひもう一度訪ねたいですね。

カメラ・トピックス かめら・とびつくす

埋没林調査

1万2千年前の埋没林か? 海底音波探査機がキャッチ



「1万2,000年前の埋没林か?」——。今年1回目の埋没林調査が、富大・藤井昭二教授らのもとで、7月16日から19日まで吉原沖で行われ、これまでよりも古い1万2,000年前の樹根らしきものが、音波探査機で確認されました。

最終日の19日、海底の物体をキャッチする音波探査機が、沖合1キロ、水深60メートル地点でとらえたものです。

今後、もっと古い樹根が存在する可能性もあり、大きな期待が寄せられています。

第2回目の調査は、8月28日から31日までの予定です。

今江	古黒部	小摺戸	小摺戸	吉原	小摺戸	田ノ又	道古	目川	芦崎	青島	下飯野	舟見	中沢	東狐	欄山	吉原	欄山	道市	新屋	下飯野
麻地哲夫	草金児	伊林春美	青塚明範	前田敏正	松田薫	池原彰	鳴先誠	西野錦一	高浜輝夫	藤塚和久	野坂昭義	金山雅則	新田春岳	鍵田昭	長島敏之	梅川清次	竹内啓三	福島善四郎	寺嶋明	原弘志
長男	長女	長男	長女	二女	長男	長男	長男	長男	長男	長男	長女	長男	長男	長男	長女	長女	長女	四男	長男	長男
一義	日登美	優未	真未	翔子	隆治	勇甫	敦人	祐樹	慎太郎	友恵	唯悟	宏教	晶	さよ子	絵美	幸美	善英	善英	泰	慶

(7月15日受付分まで)

その3- 福祉手当

☒ 受けられる人は……

重度の障害のため、日常生活に常時介護を要する方に支給されます。

- ① 重度の身体障害者（身体障害者手帳 1級または2級の一部の所持者）
- ② IQが20以下の方
- ③ 重度の精神障害者
- ④ 長期療養者で、障害により日常生活ができない方

※ 上の要件に該当しても、施設に入所している方や、障害年金の受給者（障害福祉年金の受給者を除く）、および一定額以上の所得のある方は支給されません。

☒ 手当額（月額）は……

- 障害者1人 — 10,000円

現況届の提出を

8月11日～20日

児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届は、8月11日から20日までです。

現在受給されている方は、8月期の支払を受けてから現況届を提出してください。該当者には後日案内しますが、提出されない場合は、手当の支給が停止されますのでご注意ください。

福祉制度の問い合わせは

役場福祉課まで

☎ 72-1100 内線26番

その1- 児童扶養手当

☒ 受けられる人は……

父親と生計をともにしていない児童を養育する人に支給されます。

- ① 父母が婚姻を解消した児童
- ② 父が死亡した児童
- ③ 父が廃疾の状態にある児童
- ④ 父の生死が明らかでない児童
- ⑤ その他、①～④に準ずる状態にある児童で、政令で定めるもの。

※ 上の要件に該当しても、公的年金等加算の対象になっている場合や、一定額以上の所得がある場合は受けられません。

☒ 手当額（月額）は……

- 児童1人 — 31,200円
- 児童2人 — 36,200円
- 児童3人以上は、1人につき2,000円を加算します。

その2- 特別児童扶養手当

☒ 受けられる人は……

精神の発達が遅れているため、常時介護が必要な20歳未満の児童、また、重度や中度の廃疾の状態にある20歳未満の児童を養育している父母、または養育者に支給されます。

（ただし、障害児が施設に入所している場合は該当しません。）

☒ 手当額（月額）は……

- 1級 — 36,000円
- 2級 — 24,000円

こんな制度が……

児童扶養手当や福祉手当など

児童のすこやかな成長を願い、次のような制度があります。該当するときは、福祉課へご連絡ください。



全国に紹介||黒部スイカ



見もの

◆町の特産品―黒部スイカが、富山テレビの「夜のヒットスタジオ」で紹介されます。▼期日：8月2日(月)▼時間：夜10時から11時まで▼内容：ジャンボスイカ5個をスタジオに持ち込み、自慢の味を出演者に賞味してもらいます。



案内

教育無料相談

▼8月5日(木)―「心と発育」田中昭人(県精神衛生センター所長代理)「学習」小路みつ子(富山教育事務所指導主事)▼8月19日(木)―「学習」高見京子(黒東小教諭)「生活」



募集

お年寄り向きの新しいスポーツを

●現在ゲートボールが普及していますが、お年寄りが楽しめる新しいスポーツやゲームを募集しています。あなたのアイデアをお寄せください。▼応募規定：激しい運動を必要とせず、頭を使わず、団体でやれるもの。▼できれば図解入りで、スポーツ(ゲーム)名も書いてください。▼送り先：役場社会体育係まで▼締め切り：9月30日まで▼賞：優秀作に薄謝進呈。

善 意 の 窓

あたたかいご芳志に感謝いたします。

入善町善意銀行（敬称略）

（6月16日～7月8日）

墓ノ木	村上 ヤイ	円 100,000	舟見寿楽苑の運営資金として
上 野	全日本卓球会黒東支部 支部長近藤俊行	25,458	皇月花季展示即売会利益金を社会福祉事業に
	富山県移動 商業組合	10,000	社会福祉事業資金として（毎年）
新 屋	石山 数馬	30,000	亡父清丞の供養として新屋第1福寿会へ
舟 見	関口喜久松	30,000	亡妻くさの供養として入善町身体障害者協会へ
新 屋	渡辺友次郎	5,000	社会福祉事業資金として
東 狐	名取川清作	17,800	老人福祉資金として東狐第1福寿会へ
木ノ根	本田ミドリ	20,000	亡夫善保の供養として木ノ根福寿会へ
	追分芸能研究会 (代)深川一雄	50,000	6月20日福祉会館にて第3回カラオケ大会の収入の一部を社会福祉事業資金に
入 膳	匿 名	10,000	社会福祉事業資金として（6月分）
青 島	入小4年生 大角 靖	1,000	拾得金の報償金を善意銀行へ
入 膳	入善 駅長	3,008	愛の募金箱より
下飯野新	森 正義	50,000	亡父吉田栄次郎の供養として舟見寿楽苑へ
入 膳	吉田 すい	10,000	亡父吉田栄次郎の供養として東部第1福寿会へ
小摺戸	大橋栄太郎	30,000	亡母チヨの供養として舟見寿楽苑へ
道 古	島先 智子	6,661	拾得金の報償金を社会福祉事業資金に

■ 物品の部

芦 崎	芦崎保育所母の会 (代)池田昭子	古衣類 約50点	チャリティバザーの残り を施設へ
	匿名 2名	古切手 660枚	日赤県支部へ
	磯富山テクニカル エンジニア社 (代)前田正行	古切手 500枚	日赤県支部へ
入 膳	藤沢 トミ	カゴ 10個	老人福祉の一端として
幸 町	武田 澄子	紙ひょうたん 293個	ボランティア活動の一端 として各保育所へ

家庭奉仕員制度が 変わります

～今年10月1日から～

寝たきりのお年寄りや身体障害者のご家庭を訪問して身の回りのお世話をする「家庭奉仕員制度」が、10月1日から変わります。

◆ 改正の内容

1. 所得税課税世帯にも派遣

これまで、家庭奉仕員を派遣する対象家庭は、
①おおむね65歳以上の一人暮らし老人・寝たきり老人のいる家庭 ②重度の心身障害者（児）のいる家庭であって、介護する人がいない低所得世帯つまり所得税非課税世帯に限定されていましたが、この所得制限がなくなります。

2. パート制度の導入

利用者のいろいろな希望に応えるため、臨時的な介護にも派遣されます。

◆ 利用料金

1時間当たり 580円で、利用者の負担割合は、次のとおりです。

1. 所得税非課税世帯 …… 無料

2. 所得税の年税額が

3万円未満の世帯 …… ½負担

3万円以上の世帯 …… 全額負担

◆ 申込み

希望される家庭は、役場福祉課まで申し込んでください。随時受け付けています。

お知らせ

奉仕サイクリング

杉本善治（前入善西中学校長）

●サイクリングの大好きな君/夏の早朝、キヤンプ場の清掃に出かけてみないかい……。
▼8月8日(日)墓ノ木自然公園キヤンプ場▼8月22日(日)園家山キヤンプ場▼集合：中央公民館前に朝5時50分まで（キヤンプ場の近くの人は現地集合6時50分）

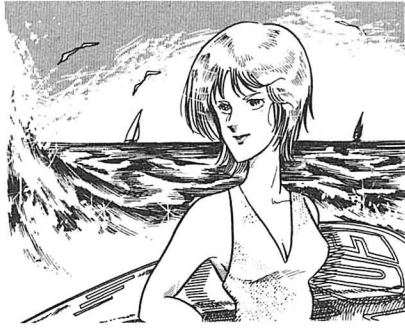
町政バスの運行

▼期日：8月4日(水)▼時間：午後1時30分
場発・4時30分着▼参加費：無料▼申込み：
広報係へ、直接または電話で☎72-1100
内線38番▼7月から受け付けており、あと
20名ほど余裕があります。▼次回は10月の予定。

あなたと図書館

本との出会い
ゆたかな人生

子どもたちが待ちに待った夏休みに入り、もう一週間……。そろそろお母さん方から「朝から晩までうるさいこと!!」と、小言が出



イラスト・泉 裕子さん

てきそうです。

小言は、聞くのも言うのも後味が悪いもの。むしろ、そんな時は、親子で図書館に来てみませんか。冷房で涼しい図書館は、きっと、みんなの心を和ませてくれるでしょう。

その上、幸いなことに、今年も児童書ばかりおいてある子ども室が誕生しました。親子で本を読んだり、子ども同士で紙芝居を見せ合ったり、ご自由に利用してください。

子ども室には、絵本、伝記、創作童話、観察シリーズ、作文の本などが、それぞれ分野別に並べてあります。きつと今までより、利用しやすくなったことと思います。

7月のリクエスト図書ベスト5

- 1位 魚津だより
- 2位 花祭
- 3位 化粧(上・下)
- 4位 開幕ベルは華やかに
- 5位 旅路

本の子約は電話でも受けつけます!!

TEL 72-1100
内線 39

ところで、毎年、お盆が過ぎると、親子で必死になって夏休みの宿題に取り組んでおられる光景が見られます。が、図書館ではこの時期、参考となる図鑑類や観察シリーズ等の本は、ひんばんに貸し出しされますので、本棚にないことが多々あります。

◆新着図書案内◆

- 〈小説〉
- 花祭 平岩弓枝
 - 北の人名録 倉本 聡
 - 峠の群像(下) 堺屋太一
 - ザ・レイプ 落合恵子
 - 道頓堀川 宮本 輝
 - ブリリアントな午後 田中康夫
 - 菜の花の沖(一) 司馬遼太郎
 - 女の一生(第二部) 遠藤周作
 - 輝ける碧き空の下で 北 杜夫
 - 苺をつぶしながら 田辺聖子
- 〈一般図書〉
- 合格いっぽん道 飯塚よし照
 - 旅路 藤原てい
 - 頭を使って儲けなさい 竹村健一
 - 情報整理の技術 遠藤壮一
 - おトウの子育て 早乙女勝元
 - 親離れするとき読む本 神津カンナ

こすもす読書会

8月2日(月)
9:30~11:30
テキスト
徳山道助の帰郷
(柏原兵三著)
会場：いずれも武村福祉会館です。
どうぞご参加ください。

古典文学鑑賞講座

8月4日(水)・25日(水)
10:00~12:00
源氏物語
(玉葛、初音)
講師：中川 禎子先生

夏休み子ども会

8月7日(土)
13:00~15:00
ところ 武村福祉会館
プログラム 映画
ブックトーク
おはなし
ゲーム など

八月二日天まで焼けた
山によせる心
家持の立山の賦
叱り方の上手い親、下手な親II
マイコン応用自在
奥田史郎他
田中澄江
川上正二
田中澄江
浜田 恵

▽「広報300号記念特集号」——いかがでしたか。「覚えてますか?あの頃・あの記事」では、その当時のことを懐しく思い出された方が多かったのでは……。▽「300号に寄せて」では、15歳の中学生から78歳のおばあちゃんまで11名の方々から貴重なご意見をいただきました。この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。広報にゆうぜんへのいろいろな要望は、今後できるだけ取り入れていく方針です。

編集室

今月の人口			
人口	29,717 (+27)	29,394	
男	14,199 (+16)	14,011	
女	15,518 (+11)	15,383	
世帯数	7,416 (+3)	7,233	
()内は前月比		前年同月	
7月1日現在住民登録			